

学校経営の重点	中期目標	短期目標	評価資料収集対象等				取組・成果指標		
			アンケート項目設定						
			教職員	生徒	保護者	地域			
1 新教育課程を踏まえた教育内容の充実	(1) 言語教育の充実発展	・評価計画の見直しをする。	○				・12月職員自己評価	・評価計画の作成・評価活動の取り組みをスケジュール化する。	
		・「ことばの教育」に視点を当てた指導方法の工夫・改善をする。 ・思考する活動を重視する。 ・授業公開・授業研究を行う。	○	○	○		・12月職員自己評価 ・12月生徒アンケート ・12月保護者アンケート	・授業アンケートの実施計画を立てる。 ・生徒の授業アンケートで肯定的評価70%超を目指す。	
		・学年の実情に応じ、学ぶ意欲を高める授業改善や個に応じた指導の工夫を図る。	○	○			・12月職員自己評価 ・12月生徒授業アンケート	・学年の実情を掴み、学年に応じたきめ細かな学業指導を実践する。 ・職員アンケートで肯定的評価を70%超を目指す。 ・授業アンケート項目で肯定的評価を70%超を目指す。	
(2) 理数教育を重視した教育課程の編成・実施と学力の向上	・家庭学習の充実を図る。	○	○	○		・12月職員自己評価 ・12月生徒アンケート ・12月保護者アンケート	・各学年で家庭学習の習慣化を図る手だて(白文帳の活用、テスト勉強計画表など)をとる。 ・職員・生徒・保護者アンケートで肯定的評価を70%超を目指す。		
	・学校図書館の利用増を目指し、読書活動の充実を図る。	○		○		・12月生徒アンケート	・学校司書の効果的な活用。 (廃業圖書の選定、環境整備等)		
	・図書館を利用した授業作りをする。 ・保護者に学校図書館の様子を知ってもらう。	○				・12月職員自己評価	・調べ学習等、授業での図書館利用。 ・学校便りと図書館便りを一体化させる。 ・個人懇談の保護者控え室を図書室とし、様子を知っていただく。		
2 一人ひとり大切に生徒指導の推進	(1) 基本的な生活習慣の定着と生徒の「自己肯定感」を育む生徒指導の充実	・一人一人の生徒の良さや意欲を引き出す個に応じた指導の充実 ・清掃、挨拶に重点をおいた指導の充実(職場体験、普段の清掃活動で言葉遣いやふるまいを身に付け、さらに自分自身の向上を目指す)	○	○	○		・12月職員自己評価 ・1年:職場見学、体育祭、文化祭で生徒・保護者アンケート ・2年:修学旅行、体育祭、文化祭で生徒・保護者アンケート ・3年:職場体験、体育祭、文化祭で生徒・保護者アンケート ・12月保護者アンケート	・年に2回の教育相談の実施 ・週1回の生徒指導部会の実施 ・毎日の校内巡視による生徒への声かけの実施 ・教職員、保護者や地域代表へのアンケートで肯定的評価70%以上	
		(2) 危機管理体制の確立と教職員の資質の向上	○		○		・12月職員自己評価 ・12月保護者アンケート	・年2回の校内生徒指導研修会の実施 ・生徒理解のための保護者研修会の実施 ・教職員、保護者へのアンケートで肯定的評価70%以上	
		(3) 校内推進体制の強化	・通級指導教室の体制整備の充実を図ると共に、特別支援教育への正しい理解啓発に努める。 ・人権・同和教育委員会を中心に、本校の人権・同和教育に関わる活動を推進する。	○		○		・12月職員自己評価 ・12月保護者アンケート	・特別支援教育の理解についてアンケートをとり、70%以上の肯定的評価を目指す。 ・保護者に対する啓発(パンフレット、説明)
3 「人権・同和教育」及び「特別支援教育」の充実	(2) 地域、関係機関、異校種等との連携	・教育センターや特別支援学校等と連携し、生徒の情報交換をおこなう。	○				・12月職員自己評価	・学期に1回連絡会をもつ。 ・各関係機関と学年との生徒支援にかかわるコーディネートをすすめる。	
		・人権・同和教育推進委員会を中心に、関係機関との連携を強化する。	○				・12月職員自己評価	・三隅自治区人権を考える集いへの全校参加。 ・三隅自治区学校人権・同和教育研修への参加。	
		(3) 生徒の自主的活動の推進とその支援	・生徒の興味・関心・能力に応じた個別の支援をおこなう。 ・生徒会人権宣言を受け、生徒会を中心とした生徒の人権・同和教育に関わる活動をすすめる。	○	○			・12月職員自己評価 ・12月職員自己評価	・アンケート結果から70%以上の肯定的評価を目指す。 ・通級指導担当や支援員と連携をはかる。 ・生徒会主催の人権集いの開催 ・生徒会人権宣言に関連づけた生徒会活動の実施。 ・アンケート結果から70%以上の肯定的評価を目指す。
4 地域の教育推進を生かした教	(1) キュリア教育・ふるさと教育等の地域体験活動の充実	・地域でのひと・もの・ことを活用した体験活動を積極的に推進する	○	○		○	12月職員自己評価	・職場体験先を確保するために学校ホームページや学校だよりを活用し新規体験先の開拓に努める。 ・生徒の発達段階に応じて職場訪問、職場体験を計画的に実施する。 ・職員・生徒・実施施設へのアンケートで肯定的評価が70%以上	
		(2) 地域人材の積極的な活用	○	○	○	○	12月保護者アンケート 12月職員自己評価	次のような取組や行事を実施できるよう支援する。 ・月1回の読み語りの実施 ・町内におけるスケッチ大会の実施 ・みずみ習字及び書き初め会の実施 ・地域の講師を活用した文化行事への取組と発表会の実施 上記の行事実施後の生徒・職員・講師等へのアンケート及び12月の保護者アンケートで肯定的評価(感想を含む)が70%以上	
5 開かれた学校づくり	(1) PTA活動の充実	・PTA活動に多くの保護者に参加してもらう。	○		○		・PTA総会 ・地区懇談会 ・奉仕活動 ・12月自己評価	・多くの保護者に活動に参加してもらうように案内・内容を工夫する。 ・70%以上の参加を目指す。	
		(2) 学校評価の工夫・改善	・学校評価を全教職員で推進する。 ・自己評価結果・学校関係者評価結果・改善策を公表する。	○				・12月自己評価 ・2月自己評価 ・2月アンケート	・目標作成、評価計画、評価、改善策を全職員で分担して実施する。 ・教職員の自己評価で肯定的評価70%以上 ・自己評価結果を1月、学校関係者評価結果・改善策を3月に公表する。 ・教職員、保護者へのアンケートで肯定的評価70%以上
		(3) 情報発信による地域社会との連帯感の構築	・学校の取組内容の理解につながる教育情報の積極的発信に努める。	○	○	○	○	・6月HPIに関するアンケート実施 ・12月自己評価 ・12月アンケート	・アンケートを実施し、ホームページの閲覧状況や掲載内容の調査をする。 ・毎月1回学校だよりを発行する。 ・学校ホームページの更新回数を増やす。 ・教職員、保護者や地域代表へのアンケートで肯定的評価70%以上

※評価の規準 A:90%以上 B:70~90% C:50~70% D:50%未満
又は A:十分に達成できている状況 B:概ね達成できている状況 C:どちらかといえば達成できていない状況 D:ほとんど達成できていない状況